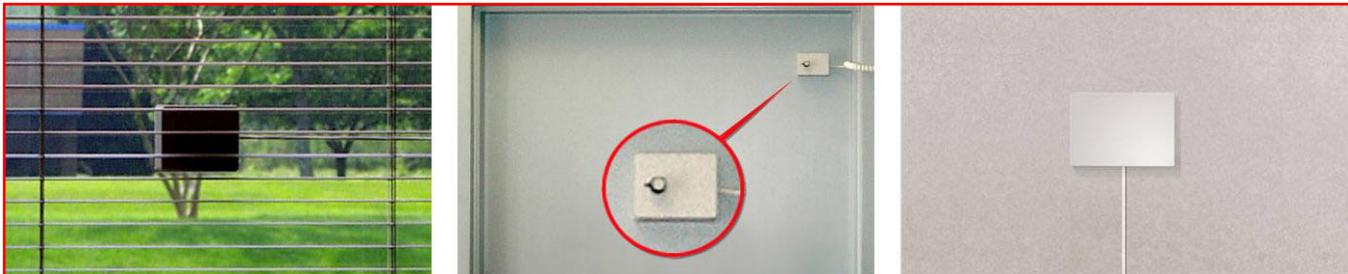




DS2500
窓・ドア・壁面用
サウンドマスキング

※本マニュアルの一部ページは、DS2530 / DS2508 の説明を兼ねています。



本製品の特長

本製品は、リデザインされたサウンドマスキングを搭載した盗聴防止装置です。標準の70V配電線で駆動し、その他の類似製品とはパラレル接続で使用します。本製品は従来の製品よりも小さく、設置もより簡単です。また、設置後は目立ちません。

デバイスの相互接続 / ゾーニング

本製品は、柔軟性と互換性に非常に優れています。システムを設計する際は、ゾーンごとに類似製品を配線し、適切なサウンドマスキングレベル / スペクトラムを得られるようにしてください。

類似製品であっても、使用状況によっては必要な入力レベルが大きく変わることがあります。例えば、ドア用のサウンドマスキングであっても、重い無垢素材のドアに取り付ける場合、内部が空洞の軽いドアに取り付ける場合よりも多くの電流が必要になります。

製品概要

DS2500 サウンドマスキングは、窓・ドア・壁面の中に全帯域のサウンドマスキングを流し込むことで、人的あるいはコンピューターを介した盗聴を防ぐ製品です。本製品は、窓に着色フィルムやプラスチックフィルムが装着されている場合にも、窓の内側に取り付けることができます。ドアへの取り付けの場合も、ドアの構造や仕上げを問わず貼り付けることができます。壁にも取り付けが可能です。これらのいずれの用途においても、取り付け面に損傷を与えることなく、様々な場所で効果を発揮します。特に、SCIF（機密情報施設）のために DIAM や DCID の要件を満たす必要がある場合に不可欠な製品です。

DS2500 は、小型の筐体、内蔵ドライバー、70V トランス、およびワイヤード線で構成されています。ロータリーボリュームコントロールは、有無をお好みで選択いただけます。ドアなどの使用に向け、巻き取り式コードもご用意しています。

DS2500 は連続使用が可能で、レイヤードサウンドマスキング信号にも対応しています。Dynasound の DS102 シリーズセキュリティジェネレーターおよびアンプと併用することで、人や電子機器による盗聴を防ぐだけでなく、高度な信号復元技術も阻止します。

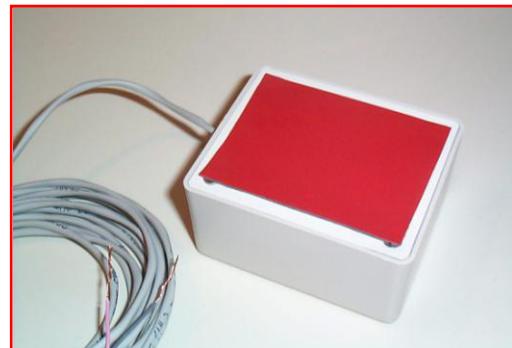
開梱時の注意

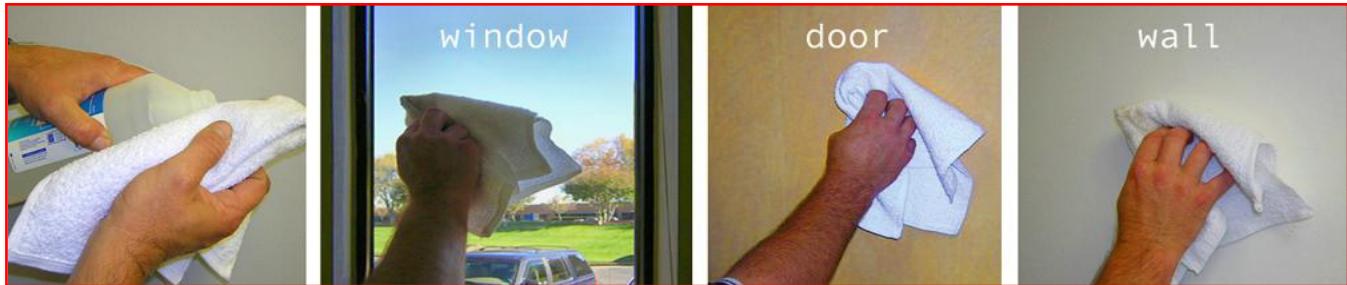
DS2500 は、工場出荷前に厳重な検査を実施し、内部ドライバーは固定して出荷しています。開梱中に損傷があれば、すぐに販売店へ報告してください。輸送中の破損であれば、配送業者に連絡して補償手続きを行う必要があります。梱包材や箱は処分せずに保管してください。



取り付けについて

DS2500 は、ユニットの筐体とワイヤード線のみの非常にシンプルな構成です。筐体（右図参照）には、剥がして貼るタイプの接着剤が付いています。硬化すると、接着面に半永久的に接着するため、本書を最後までお読みいただくまで、この保護シートは剥がさないようにしてください。次のページで設置手順を説明します。





取り付け面の下準備

デバイスを接着する前に、取り付け部分の表面に油脂、汚れ、異物がないことを確認してください。無水エタノールなどを清潔な布に少量とり、取り付け部分を軽く拭いてください。家庭用洗剤は使用しないでください。

デバイスの取り付け

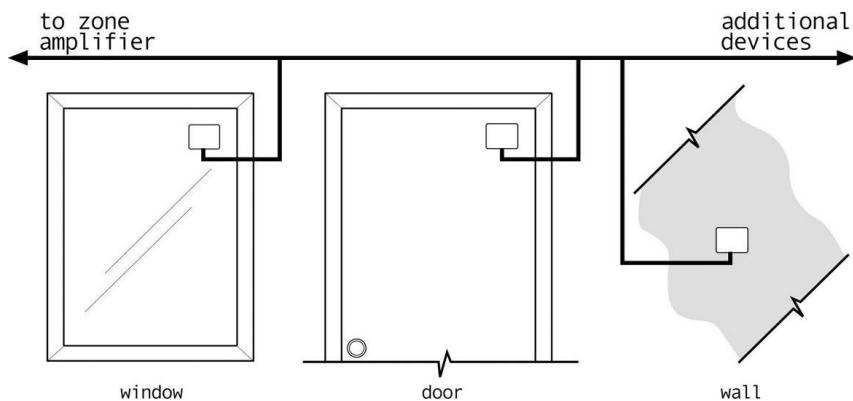
取り付け面の下準備後、デバイスの正確な設置場所を決定します。この手順にはしっかりと時間をかけてください。一度取り付けると、デバイスを取り外すのが難しくなり、また接着効果も薄まるためです。



設置場所を決めたあと、デバイスの保護シートをはがし、デバイスを接着面にしっかりと押し付けます。約 30 秒間、一定の圧力を維持して押し付けてください。接着剤は、最初の 24 時間で硬化し、強度が増します。それまでの間、デバイスを不必要に触らないようにしてください。接着剤は、硬化後は、温度変化や紫外線への曝露にも適応するように設計されています。

電気接続

相互接続ケーブル（信号線）は、18 ゲージまたは 20 ゲージのシールドなし 2 芯銅撲線を使用してください。サウンドマスキングアンプからすべてのデバイスに並列接続してください（下図参照）。



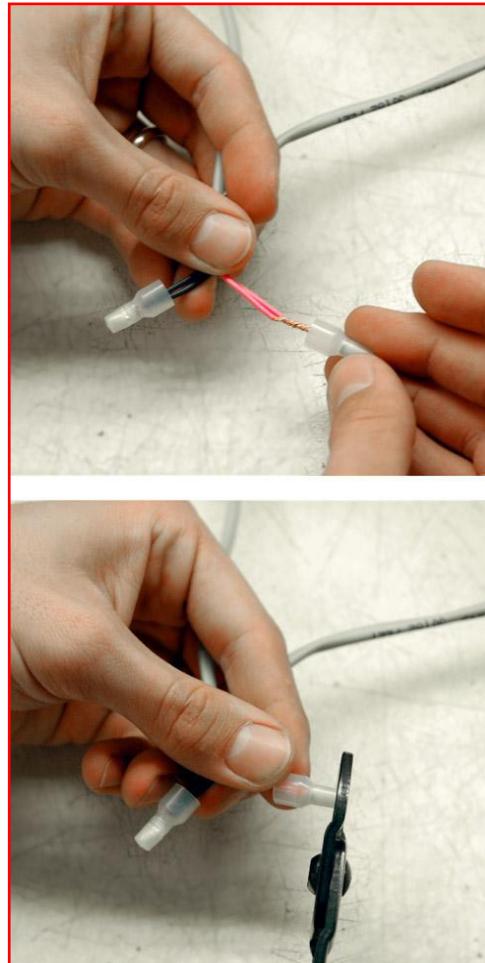
配線作業

ユニットのリード線を、最終的な電気接続が行われる箇所まで、真っ直ぐで目立たない経路に沿って配線し、固定します。適切なワイヤークランプ工具を使用し、黒色の結束線（ペアになっているもの）の露出端を被覆し、銅線が露出しないようにつっかりと圧着します。圧着工具がつっかりと固定され、簡単に外れないことを確認してください。赤色の線についても、この手順を繰り返します（右図参照）。

ロータリースイッチ

DS2500 はロータリースイッチの有無を選択できます。ロータリースイッチのないユニット（DS2508）は、工場出荷時に 2W のタップ設定になっています。ロータリースイッチ付きのユニットは、調整が必要です。ロータリースイッチ付きモデルには、「OFF」、1/8、1/4、1/2、1、2、4 W の設定があります。用途によっては、他の位置よりも高い設定が必要になる場合があります。

最終的に設置されたユニットは、本書の表紙に掲載されている写真のようになります。



注意事項

- DS2500 Soundmasker は、サウンドマスキングスペクトルが正しくイコライズされている場合のみ効果を発揮します。
- このイコライズは、適切な機器を備えた認定技術者が行う必要があります。
- サウンドマスキングスペクトルの形状は、サウンドマスキング信号発生器 / イコライザーで設定されます。

現場での保守

DS2500 は、フィールドメンテナンスは不要です。